

# 親亡き後、安心して暮らすために

## 手段としての生活保護

発表者 佐藤 晃一（やどかりの里メンバー・理事） KİYOKO（やどかりの里メンバー）

ミニ講演 永瀬恵美子（やどかりの里職員）

日時 2019年2月20日（水） 13:30～15:30

会場 浦和コミュニティセンター 第13集会室

参加費 500円

主催 公益社団法人やどかりの里 やどかり出版

\*\*\*やどかり出版からのメッセージ\*\*\*\*\*

久しぶりの体験発表を開催します。私たちは精神障害を経験し、体験したからこそわかる知恵や意見を社会に発信しようと、体験発表を企画しています。

今回の発表者は、やどかりの里メンバーの佐藤晃一さんと KİYOKO さんです。お2人とも1人暮らしで生活保護の制度を活用しています。

生活保護については、誤解や偏見がありますが、障害のある人が親からの自立を図る時、「生活保護」はひじょうに有用な手段です。やどかりの里職員の永瀬恵美子さんのミニ講座で生活保護について学びたいと思います。Q&Aの時間には親からの自立した生活や生活保護制度について投げかけてみてください。

この体験発表会を通して、親亡き後の生き方について「こんな生き方があるんだ」「自立へのこういう道もあるんだ」と伝えたいと企画しました。

2018年12月やどかり出版一同

\*\*\*佐藤晃一さんプロフィール\*\*\*\*\*

1966年、東北地方で生まれる。中学3年生の春、不眠と微熱が続き大学病院の内科から精神科の受診。その後、25歳で精神科に入院。30歳のころ、主治医にやどかりの里を紹介され、1999年やどかりの里に登録。食事サービスセンターエンジュで働く傍ら、やどかり情報館の講師でありピアサポーターとしても働く。

\*\*\*KIYOKOさんプロフィール\*\*\*\*\*

さいたま市在住。20代で精神科を受診。その後さいたま市の精神科病院で7年間の入院。県内の宿泊型自立訓練施設で1人暮らしに向けた自立訓練後、やどかりの里と出会いアパートで1人暮らしを始める。現在は、やどかり情報館の講師活動に取り組みながら、週1日作業所の食事づくりをしている。

\*\*\*\*\*やどかり出版\*\*

〒337-0026 さいたま市見沼区染谷 1177-4 TEL048-680-1891 Fax048-680-1894

## 第34回体験発表会 親亡き後、安心して暮らすために

**お申し込み方法** FAX, 電子メール, お手紙のいずれかの方法でお申し込みください。

**参加申し込み先** やどかり出版

〒337-0026 さいたま市見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館内  
FAX: 048-680-1894 電子メール: johokan@yadokarinosato.org  
2018年2月15日(金)までにお申込ください。

**お問い合わせ** 電話: 048-680-1891

### 会場への行き方

電車でお越しの方 JR線「浦和駅東口」より徒歩1分

**駐車場について**

駐車台数 835 台 (公共駐車場・有料 30分 200円) 障害者手帳をお持ちの方は割引があります。

駐車台数に限りがあり、駐車できない場合もございますので、公共交通機関での来館にご協力ください。

### 会場ご案内図



## 第34回体験発表会 親亡き後、安心して暮らすために **参加申込書**

送付先 FAX 番号 048-680-1894

ふりがな <b>お名前</b>	
ご一緒の方	
<b>ご連絡先</b> <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	〒
<b>電話番号</b>	

\* お名前以外は差し支えない範囲でお書きください。

\* 複数でのご参加で連絡先がご一緒の場合、代表の方以外はお名前のみご記入ください。